

学校長挨拶

石川県立小松北高等学校の web ページに訪問していただき、ありがとうございます。

本校は、昭和 23 年に石川県立小松実業高等学校に新設された定時制課程に端を発し、昭和 27 年に石川県立小松城南高等学校(定時制課程)として新設・独立を経て、昭和 47 年に石川県立小松北高等学校と校名を変更し、現在に至っております。令和 3 年 10 月には創立 70 周年記念式典を挙げてまいりました。これまで 4000 名以上の卒業生が本校を巣立っています。

「能力、個性を伸ばし、意欲的に学ぶ人間の育成」「広い視野と社会性に満ちた人間の育成」「自らの生き方を見つめ、自立できる人間の育成」を教育目標とし、その実現に教職員一同取り組んでおります。

本校は、平成 20 年に夜間制夜間部、昼間制午前部・午後部の 3 部制を備えた定時制普通科高等学校となりました。単位制、2 学期制、三修制、定併修、定通併修等の柔軟なシステムを活用することで、生徒一人一人にとって最適な学びができる学校となっています。

本校には授業以外の時間を有効に使うことを希望して入学してきた生徒や働きながら学ぶ生徒だけでなく、中学校での不登校経験を持つ生徒、他校からの転入生、あるいは高校を中退した後もう一度高校で学びたいとチャレンジする生徒等、様々な生徒が自分の目標の実現に向けて学校生活を送っています。

生徒が自分の目標を実現できるよう、教職員一同、日々の教育活動を行ってまいります。よろしく願いいたします。

令和 6 年 4 月

石川県立小松北高等学校長
橋場 孝